

みんなラボ 主要メンバー



(研究代表者)
原田 悦子 筑波大学大学院(人間系心理学域)
認知心理学とそれをベースとした認知工学研究



茂呂 雄二 筑波大学大学院(人間系心理学域)
活動理論に基づく言語、コミュニティ、学習の研究



葛岡 英明 筑波大学大学院(システム情報系)
遠隔コミュニケーションシステムを用いた協働支援



須藤 智 静岡大学大学教育センター
認知心理学と加齢、使いやすさ研究

高橋 美和子 一般社団法人人間生活工学研究センター
人間特性データの活用、人にやさしいものづくり推進

藤 桂 筑波大学大学院(人間系心理学域)
ネットワークを介した対人行動、社会心理学

萩野 真由美 みんなラボ・ラボマネージャー



稀有のスピードで社会の高齢化と、日常生活の情報化が同時進行する現代日本。
ものづくりの力を生かしながら、豊かな高齢社会を実現していくことはできないか？

みんなの使いやすいラボ
Center for Usability and Aging Research



電話：029-879-7351
FAX：029-879-7352
e-mail：jimu@tsukaiyasusa.jp
住所：茨城県つくば市吾妻
3-14-17 2F-C
(ウェルシア薬局 2F)



そこで、みんなラボは
つくば型リビングラボとして
高齢者と共に共に、使いやすいモノづくりを
考える活動から豊かな社会の実現を目指します。



みんなラボ (みんなの使いやすさラボ) とは？

正式名称は「高齢者による使いやすさ検証実践センター (CUAR)」
〔the Center for Usability and Aging Research〕

- 筑波大学が科学技術振興機構(JST-RISTEX)の助成(2011.10~2014.9)をもとに設立した組織です。
- 豊かな高齢社会を作っていくために、「**使いやすさを保証できるものづくり**」の支援を目的として活動しています。
- **みんなラボコンソーシアム**を設立し、コンソーシアムに入会された企業・団体のみなさまと一緒にみんなラボで「**使いやすさ**」に関する検証活動・研究を進めています。

みんなラボは、250名以上の高齢者ボランティア
会員が登録している研究組織です



- ① 会員はおおよそ60歳以上。みんなラボの趣旨に賛同し、社会貢献として登録された高齢者の皆さんです。
- ② 会員のみなさんに対して、個人プロフィールやモノに対する態度・経験に関するアンケート調査、認知的機能評価などを行い、それらの結果をデータベースに登録しています。
- ③ 会員の皆さんへは、データベースに基づき、使いやすい検証課題や使いやすさ研究への参加を依頼しています。みんなラボカフェや土曜会議など、使いやすさに関するコミュニティ活動には自由に参加して頂いています。

みんなラボの活動・運営組織

高齢者メンバー



ボランティア参加

みんなの使いやすさラボ (通称:みんなラボ)

みんなラボ
コミュニティ活動

使いやすさ
検証事業

使いやすさ
研究活動

参加・委託・実施

任意団体:みんなラボコンソーシアム



企業・団体会員



研究者会員

みんなラボ研究グループ

超高齢社会における3つのアプローチによる「**使いやすさ**」研究

- ・認知的加齢化と使いやすさ研究(認知心理学)
- ・人工物研究支援ツールグループ(システム情報工学)
- ・人工物利用とコミュニティ研究グループ(文化・学習心理学)

みんなラボの目指す成果と対象 つくば型リビングラボとは？

● つくば型リビングラボとは？

- リビングラボは、ユーザのコミュニティを基盤として、生活者としての視点から、製品・サービスの使いやすさ、Ux(ユーザエクスペリエンス)を検討します。
- 大学の研究者を中心として、常に新しい方法論を追究しながら、科学としてのデータに基づく、エビデンスベースの「ユーザにとっての使いやすさ、Ux」の姿を明らかにしていきます。
- 社会貢献を目指すボランティアな参加者だからこそ可能な、第三者的、中立的な評価を可能にします。

● 何を対象とする？

- 「家庭内での利用機器」
…炊飯器、電子オーブンレンジ、住宅設備
- 「個人利用機器」
…携帯電話、モバイル機器、Webサイト
- 「公共空間での機器」
…ATMや券売機、駅の表示/デザイン
- 「高齢労働者が接する業務機器」
…監視モニタ、レジ
- 「在宅医療・在宅介護用の医療機器・医薬品パッケージ」
様々な機器・サービスを対象としています

みんなラボコンソーシアムのご紹介

みんなの使いやすさラボでは、みんなラボの「**資源**」を共に利用しながら、モノの使いやすさと高齢社会におけるモノづくりの問題を考えていく場として、「**みんなラボ・コンソーシアム**」を設置しております。
みんなラボでの各種サービスをご利用になりたい場合は、コンソーシアムへの入会をお願いいたします。

コンソーシアム会員向けサービス

- ① 「**コミュニティ活動**」への参加…みんなラボ総会、みんなラボカフェといった高齢者の方が参加されるコミュニティ活動、コンソーシアムのメンバーで実施する研究会や勉強会(年2回程度)へ参加頂けます。
- ② 「**使いやすさ検証事業**」の依頼・実施…製品・サービスの評価を目的とした調査(ユーザビリティテスト、自宅訪問などエスノグラフィ分析)をみんなラボにご依頼頂けます。 ※別途経費、筑波大学との契約が必要です。

- 検証事業の大まかな流れ ※通常3-4ヶ月の時間が必要です。

検証事業に関するご希望のお打ち合わせ → 筑波大学との契約手続き → 経費の入金 → 調査の実施 → レポート
※契約手続きから入金まで通常1ヶ月が必要です

- ③ 「**使いやすさ研究活動**」への参加・実施…みんなラボを母体とする共同研究を実施することができます。
※上記は変更になる可能性があります。詳細はWebサイトをご覧ください。

コンソーシアム入会について

- ① 会員種別
会員種別には、団体・法人会員と個人会員(研究者)があります。
※原則として産業界からは団体・法人会員として入会できます。
大学や独立行政法人等公的研究機関などに所属する研究者は、個人会員として入会できます。

- ② 入会費・年会費
団体会員 入会金 10万円、年会費 10万円
個人会員 入会金 なし、年会費 1万円

- ③ 入会方法・手続き
入会をご希望の方は、メール・電話で下記連絡先までご連絡ください。
入会についての詳細はWebサイトをご覧ください。

➡ まずはご連絡をください。お待ちしております。
ホームページ: <http://www.tsukaiyasusa.jp>

✉ jimu@tsukaiyasusa.jp